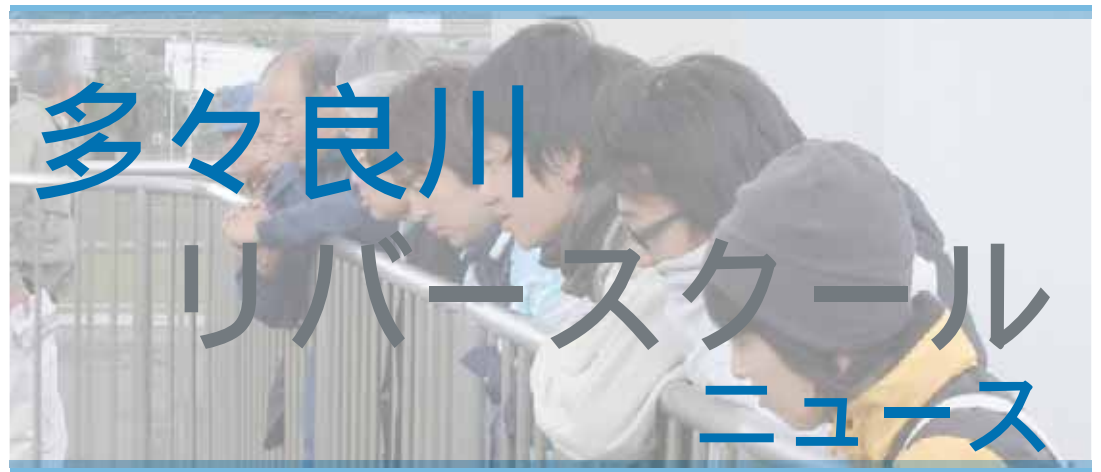


# 第2回

平成17年12月発行

発行  
多々良川ゆめプラン委員会  
東区役所 企画課  
担当：吉崎、鎌  
電話：092-645-1012  
FAX：092-651-5097



施設の説明をする森崎場長



多々良中央中学校の生徒さんも興味津々



インタビュー風景

## 多々良川の治水と利水について学びました！！

第2回多々良川リバースクールが12月4日に、福岡市多々良浄水場にて開催されました。当日は、冷たい雨や強い風にもかかわらず、約40人の方々が集まりました。

今回は、前半に福岡県建設技術情報センター土木技術課河川係長の鍋山隆さんを講師に迎え「治水」の考え方について学び、後半は福岡市多々良浄水場の森崎芳秀場長より「利水」の中でも特に飲料水について説明を伺い、多々良浄水場の施設見学を行いました。

参加者からは、「身近なところにある浄水場を初めて見学できた」、「飲料水をつくるまでの工程がたくさんあり、それを知ったことで感銘を受けた」、「行政が地域の意見を聞こうとする姿勢を知ることができて大変参考になった」など、多々良川に関わっている人や施設のことを知る機会が持てとても刺激になったとのことが多く聞かれました。

また、今回も、多々良川の広報ビデオを制作している多々良中央中学校放送部の生徒さんが、講師のお二人にインタビューを行いました。

次回は、12月23日(金・祝)、野鳥など、多々良川の自然観察会を行う予定です。

### リバースクールのこれからの流れ

第1回 11/13(日)  
10:00～12:00  
「多々良川との上手なつきあい方」  
東区役所 講堂

第2回 12/4(日)  
10:00～12:00  
「多々良川の水と私たちの生活」  
多々良浄水場

第3回 12/23(祝)  
14:00～16:00  
「環境保全と野鳥観察」  
東部水処理センター

第4回 1/29(日)  
14:00～16:00  
「活動マップづくり」  
東区役所

第5回 2月  
「今昔の遊びと今後の活動のまとめ」  
東区役所

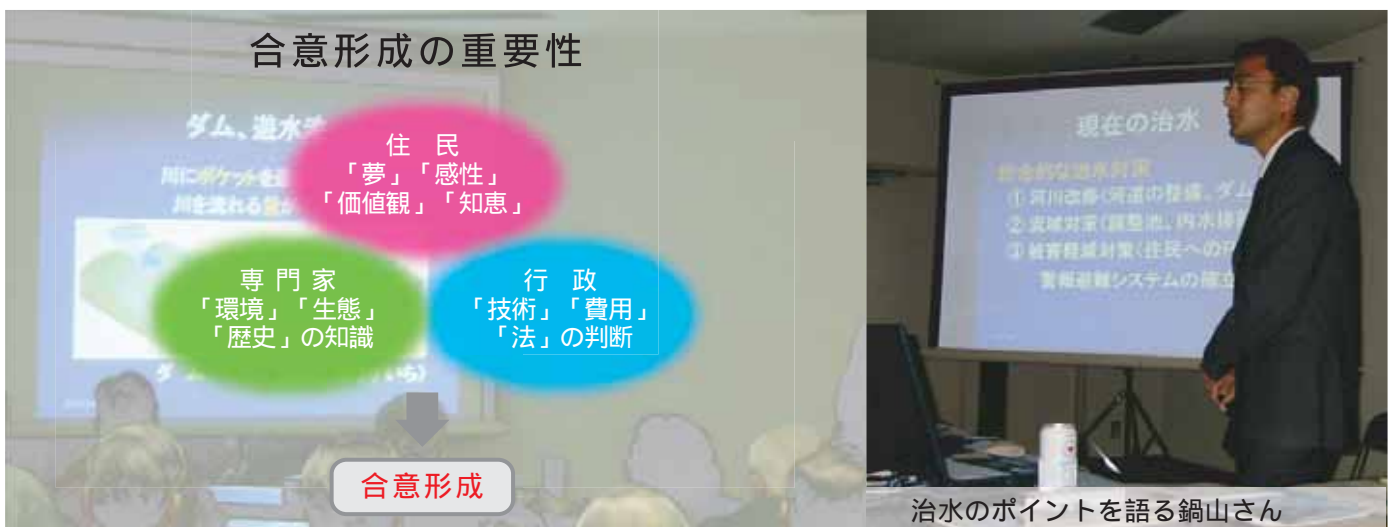
番外編 3月頃  
「山を守る」(植林など)  
篠栗町荒田

## 「治水」について

「治水」とは、洪水によって起こる災害から生命や財産を守ることを言います。古代文明の時代から治水は行われ、堤防を築いたり、掘り下げたりしてきました。最近では、従来からの河川改修（河道の整備、ダム）、流域対策（調整池、内水排除）に加え、被害軽減対策（住民へのPR、警報避難システムの確立）など総合的な治水対策を行っているそうです。

行政のスタイルが住民・専門家・行政の連携を重視したやり方へ変化していく中、環境のことについても考えていく必要があります。そのため、行政における河川専門家の育成に取り組みだしているそうです。

人に人相があるように川にも川相があります。そのため、「川のことは、川に学ぶ」という姿勢が重要であるとのメッセージを最後にいただきました。



## 「利水」について

多々良浄水場では、多々良川水系にある4つのダム（久原ダム、長谷ダム、猪野ダム、鳴淵ダム）からの水と多々良川から直接取水する水を飲料水にするための処理を行い、福岡市東部地区に供給しています。また、東区奈多にある海水淡水化施設の水をまるやかな水にするために多々良川の水と混ぜて供給していたり、オゾンと粒状活性炭による高度処理施設があることが多々良浄水場の特徴だそうです。

川の水を飲料水にするまでの工程について説明を伺い、実際に浄水場の施設見学をさせていただきました。



最後に、参加者との質疑応答では、多々良川下流左岸がどのような考え方で整備されたかというお話や、飲料水に適した水質と生物にとって適した水質は違うのではないかというお話がありました。